

## パブリックコメント手続の実施について

### 1 実施概要

#### (1) 公表する資料

南相馬市園芸作物集出荷団地整備基本計画（素案）について（概要）

#### (2) 意見の提出方法

- ① 意見提出の書式は自由、住所、氏名、電話番号を明記
- ② 提出方法は持参、郵送、FAX及び電子メール

#### (3) 意見の提出期限・公表期間

令和4年1月4日（火）から1月23日（日）まで

#### (4) 公表場所

農政課、市役所市民課、各区役所、各生涯学習センター、  
市民情報交流センター、市ホームページ

#### (5) 提出・問合せ先

〒979-2195 南相馬市小高区本町二丁目78番地  
経済部 農政課（小高区役所）

TEL 44-6809 Fax 44-6047

電子メール nosei@city.minamisoma.lg.jp

### 2 今後のスケジュールについて

日 付	項 目
1月4日（火） ～1月23日（日）	パブリックコメント手続
1月中旬	公共事業評価
1月下旬	庁内会議

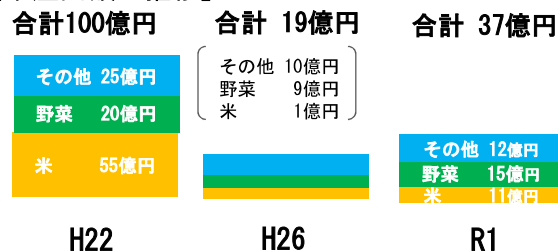
## 1. 園芸農業の現状と課題

### (1) 現状

農業産出額は、震災後に大きく落ち込んだが、野菜は震災前の75%まで回復。野菜は水稻に比べ収益率が高いが、労力がかかる。

本市農業者の高齢化率（84%）は全国（80%）より高い。

【農業産出額の推移】



注1：四捨五入により各項目の合計が一致しない場合あり

### (2) 課題

- 農業者が集出荷場や卸売市場に出荷をする際、自力での荷下ろしが肉体的負担。また集出荷場の点在、卸売市場内での非効率な動線が時間的に非効率。
- 集出荷場や卸売市場では外気が直接農産物に当たり、野菜の鮮度や機能性成分など価値が損なわれている。
- 県内トップクラスの生産量を誇る野菜があるものの、市外流通が多く、地元で認知されていない。大きな機会損失。

## 2. 集出荷関連施設の必要性

- 農業者の労力的・時間的負担を軽減し、農業生産に専念できる効率の良い集出荷システムが必要。
- 地元農産物の価値（鮮度や彩り、機能性成分など）を消費者に適切に届けられる鮮度保持システムが必要。

- 流通・販売事業者が「扱いやすい」形態に加工・パッケージする機能が必要。

## 3. 整備計画

- 予定地  
原町区上高平字柳町地内
- 敷地面積  
1.93ha
- 事業費  
約33億円
 

内訳	用地取得費	30.4百万円
	土地設計費	30.0百万円
	造成工事費	547.9百万円
	建物設計費	119.8百万円
	集出荷貯蔵施設	1,066.9百万円
	農産物加工施設	600.6百万円
	卸売市場	900.5百万円
- 施設
  - 【集出荷貯蔵施設 約2,370m<sup>2</sup>】  
大ロットの農産物を集荷。主に市外へ流通。
  - 【農産物加工施設 約730m<sup>2</sup>】  
農産物の1次加工、2次加工、3次加工などにより、小売業者の求める形態、加工品に対応。
  - 【卸売施設 約1,200m<sup>2</sup>】  
小ロットの農産物から集荷対応し、競り等を通じて市内小売店へ販売。売場で扱いやすい形態など多様なニーズに対応。
  - 【その他施設又は機能】  
購買施設・直売所・食品残さの処理機能・災害時に向けた食料備蓄機能・太陽光発電 など

- 都市計画決定  
都市施設（市場） A=1.93ha（最大）
- スケジュール  
R3.11月～R4・都市計画決定手続き  
R4.1月・・・パブリックコメント手続、公共事業  
評価  
R4・・・実施設計（R4当初予算要求）  
R5～6・・・工事（R5及び6当初予算要求）  
管理運営者選定  
R7・・・供用開始
- 管理運営形態  
無償貸付  
※管理主体については、国の要綱による対象者とする
- 特定財源  
福島再生加速化交付金（被災地域農業復興総合支援事業）  
補助率：3/4（1/4は震災復興特別交付税措置）  
※国の要綱改正を前提とする。  
※用地取得費は補助対象外。

## 4. 団地で担う機能

### 【考え方】

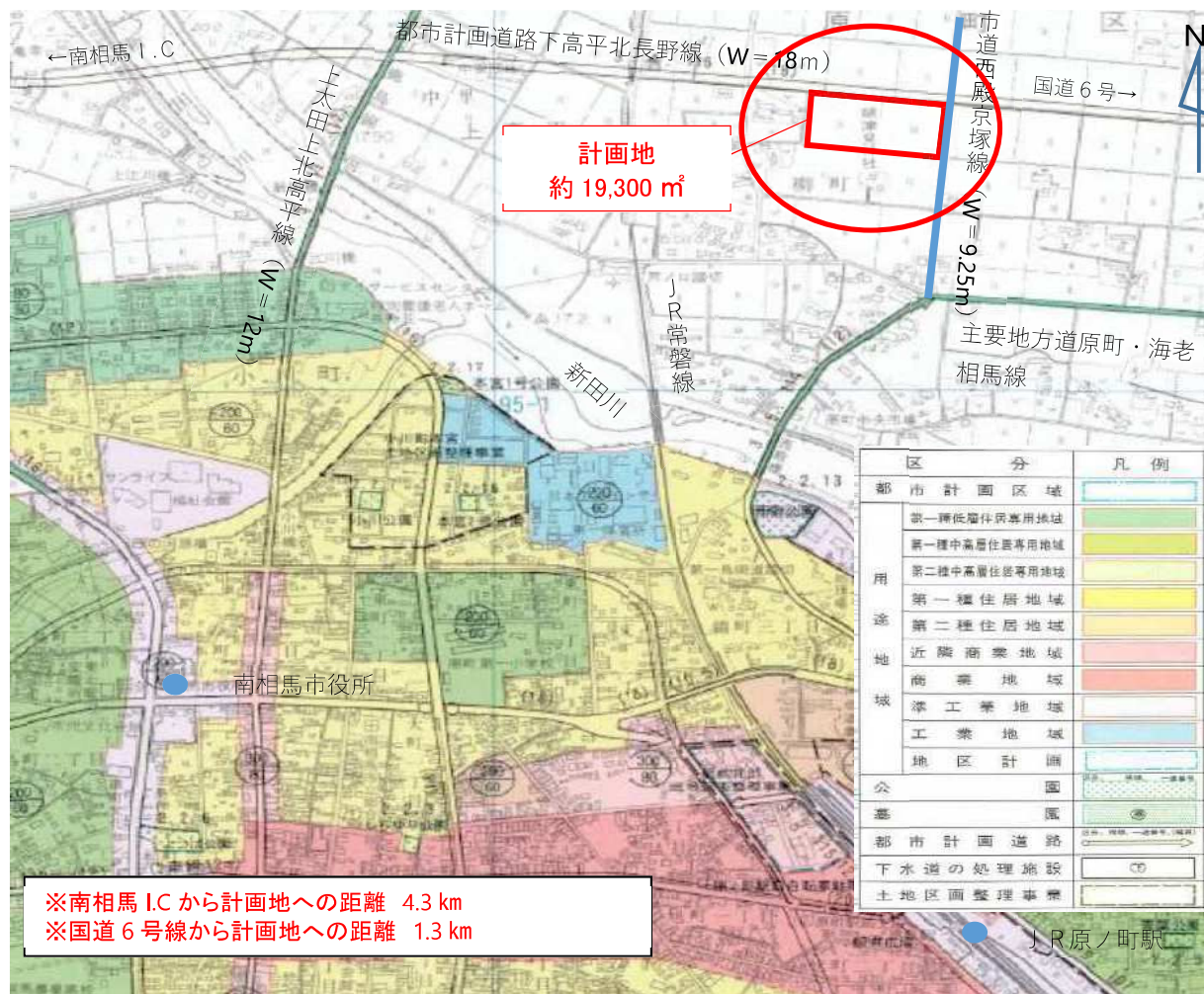
- ①効率的な流通拠点の整備により、農業者の所得と生産意欲の向上を図ります。
- ②消費者のニーズに対応し、市内外の消費者へ豊かな食生活を提供します。
- ③食文化の維持及び発展に寄与する、情報発信機能を強化します。

### 【機能又は役割】

- （1）農業者の出荷負担軽減のため集荷活動を行い、集荷力を強化します。
- （2）経営、栽培技術を支援します。
- （3）消費動向、取引動向を分析します。
- （4）販売戦略を立案します。
- （5）加工品の開発に取り組みます。
- （6）IoT、AI等の技術を活用した、効率的な物流システムを構築します。
- （7）コールドチェーンの確立による徹底した品質管理、衛生管理に取り組みます。
- （8）災害時に避難所等への食料提供を行います。

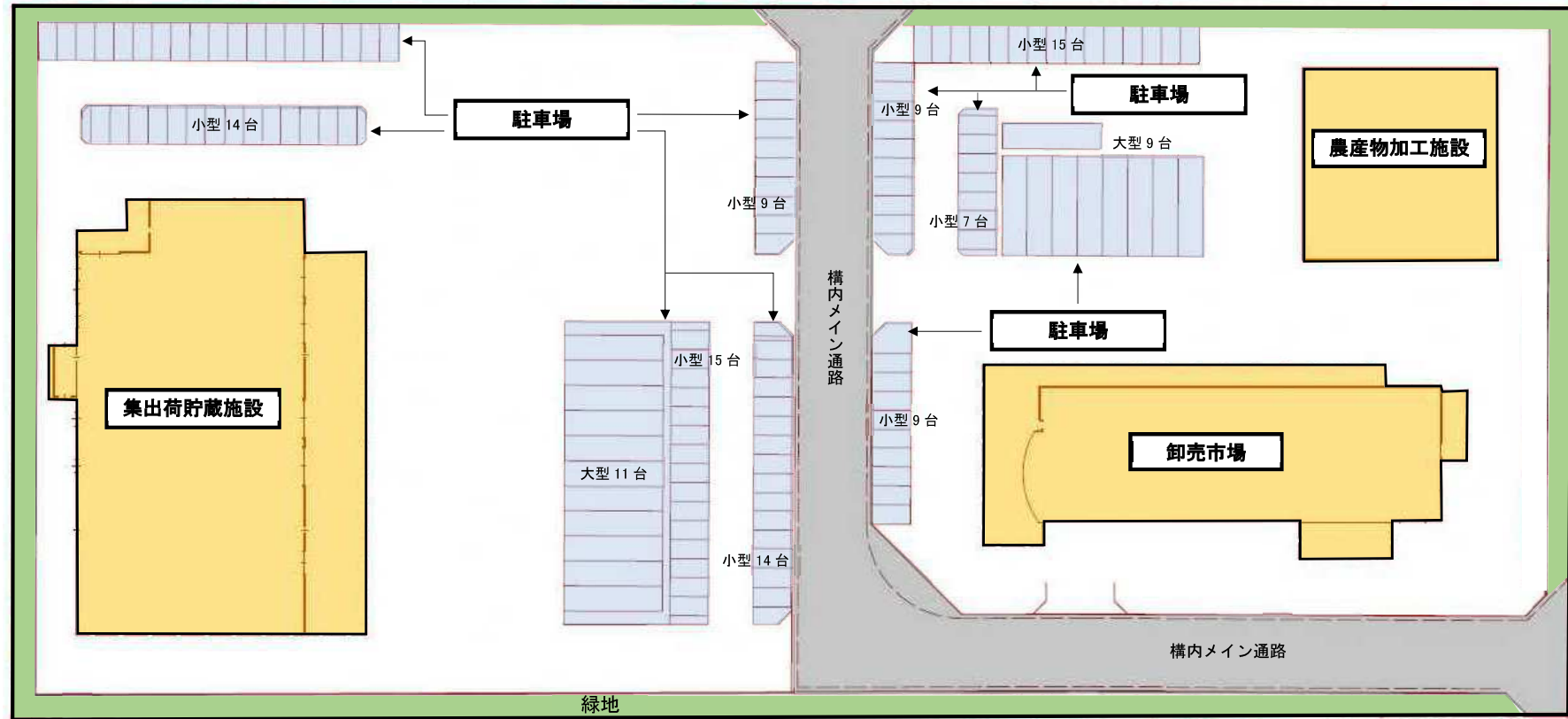
など

位置図





都市計画道路下高平北長野線



市道西殿京塚線

敷地面積：19,300㎡

5